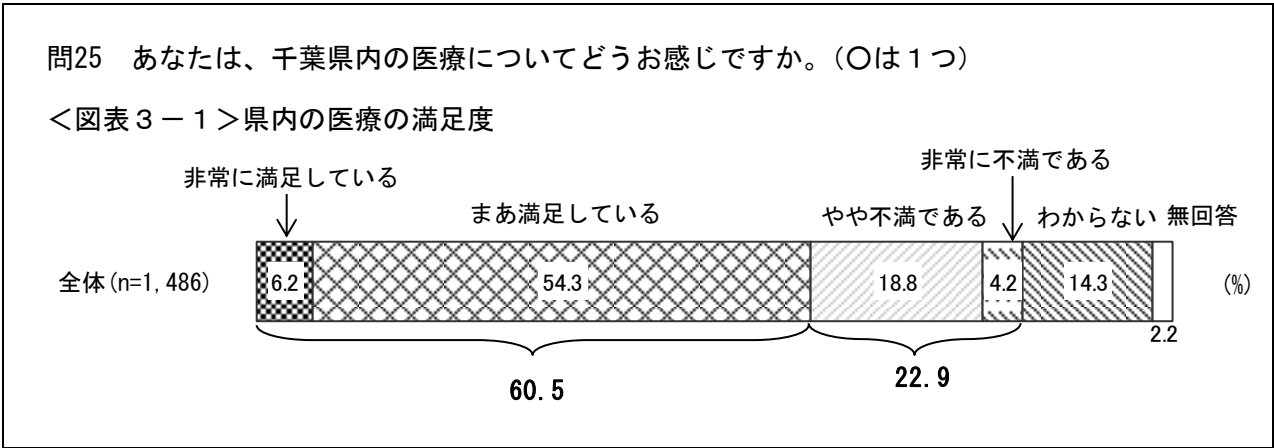


3 医療について

（1）県内の医療の満足度

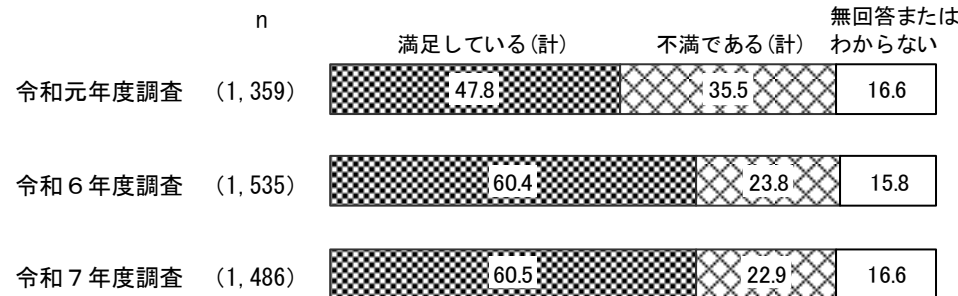
◇『満足している（計）』が6割



県内の医療の満足度を聞いたところ、「非常に満足している」（6.2％）と「まあ満足している」（54.3％）を合わせた『満足している（計）』（60.5％）が6割となっている。

一方、「やや不満である」（18.8％）と「非常に不満である」（4.2％）を合わせた『不満である（計）』（22.9％）は2割を超えている。（図表 3－1）

〔参考〕 令和元年度・6年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

地域別にみると、『満足している（計）』は“印旛地域”（69.1％）が約7割で高くなっている。

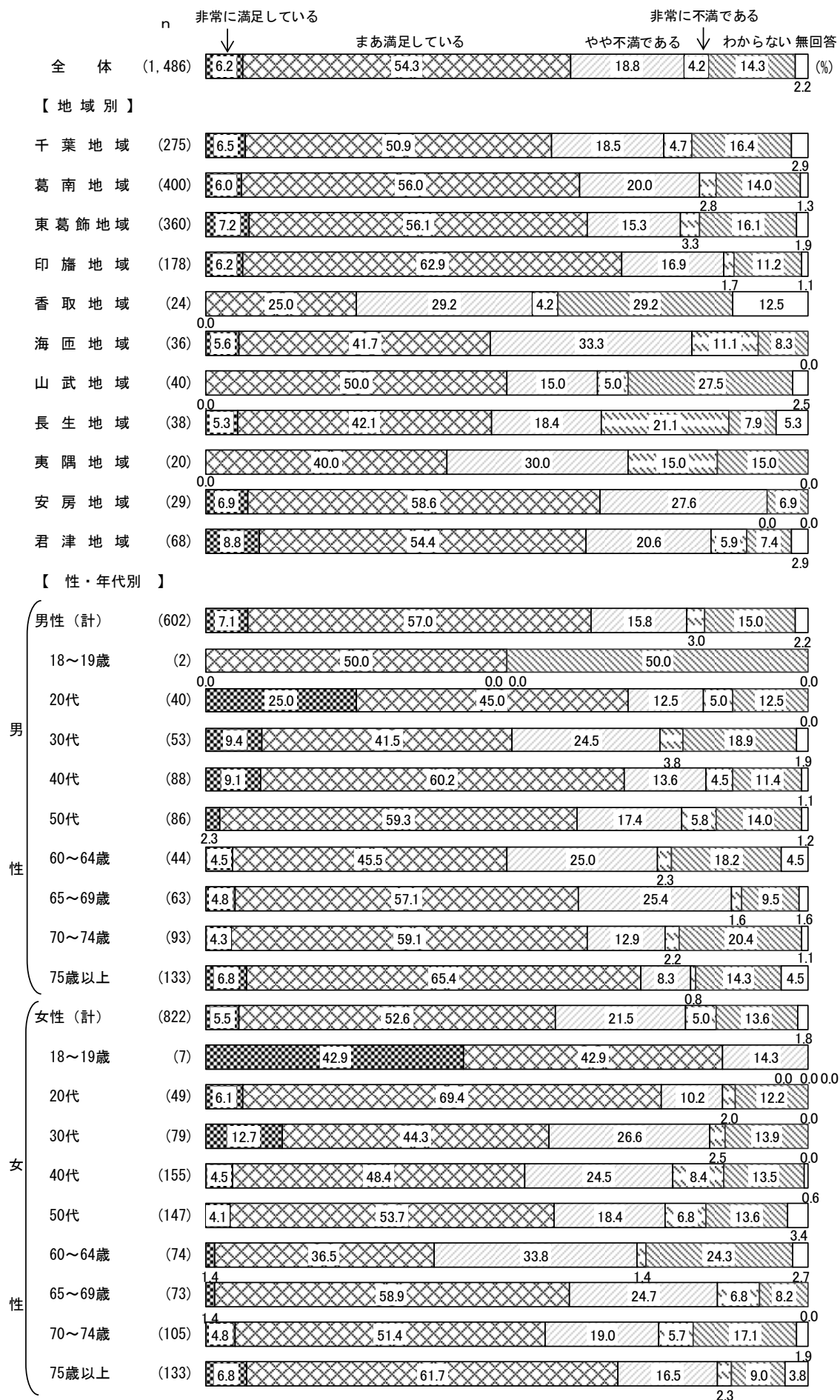
一方、『不満である（計）』は“海匝地域”（44.4％）が4割台半ば、“長生地域”（39.5％）が約4割で高くなっている。（図表 3－2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している（計）』は女性の20代（75.5％）が7割台半ば、男性の75歳以上（72.2％）が7割を超えて高くなっている。

一方、『不満である（計）』は女性の60～64歳（35.1％）が3割台半ば、女性の40代（32.9％）が3割を超えて高くなっている。（図表 3－2）

＜図表 3－2＞県内の医療の満足度／地域別、性・年代別



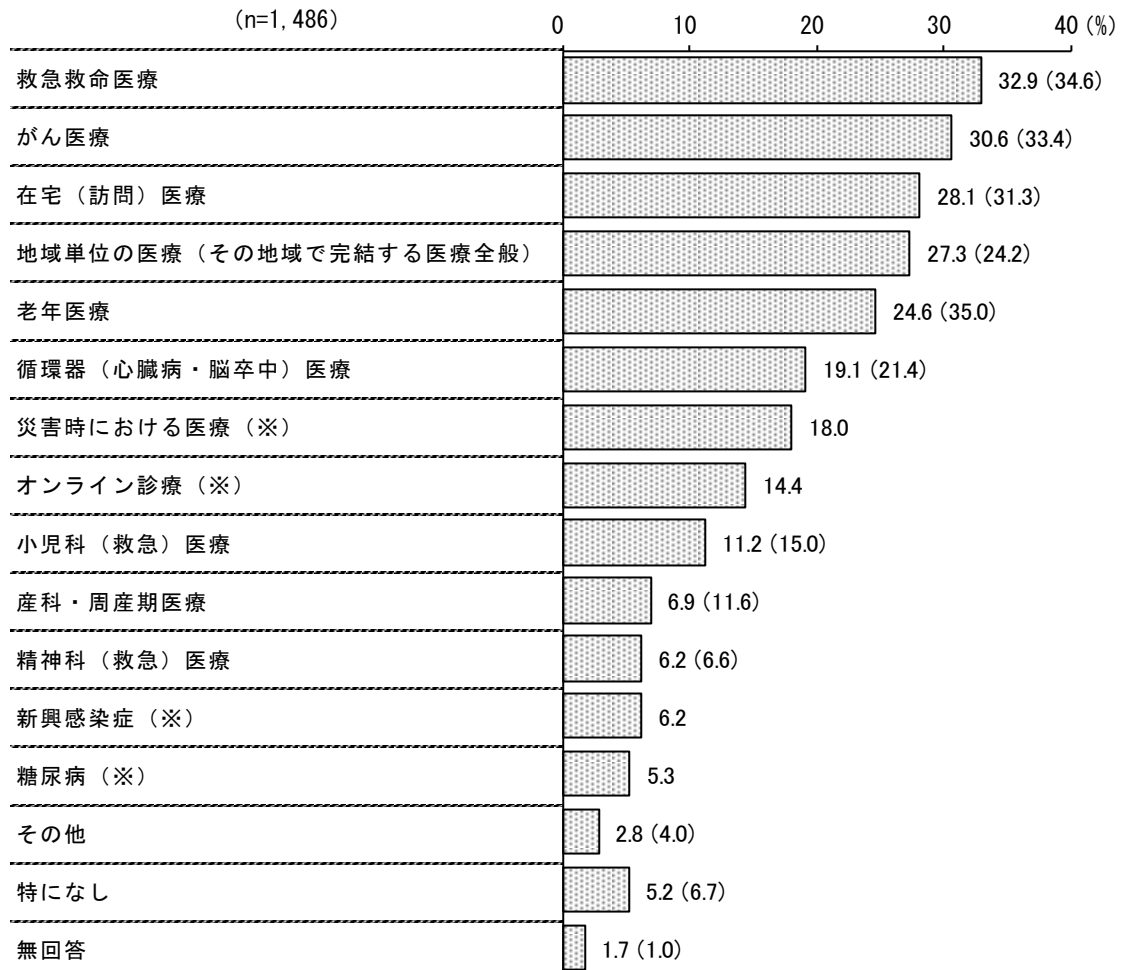
（２）今後、県に力を入れて欲しい医療

◇「救急救命医療」が３割を超える

問26 あなたが今後、県に力を入れて欲しい医療について次の中から選んでください。

（○は３つまで）

<図表３－３> 今後、県に力を入れて欲しい医療（３つまでの複数回答）



注）（ ）の数字は令和6年度の同様の項目による調査結果 n=1,535

（※）今回調査からの新規項目

今後、県に力を入れて欲しい医療について聞いたところ、「救急救命医療」（32.9%）が３割を超えて最も高く、以下、「がん医療」（30.6%）、「在宅（訪問）医療」（28.1%）、「地域単位の医療（その地域で完結する医療全般）」（27.3%）が続く。（図表３－３）

【地域別】

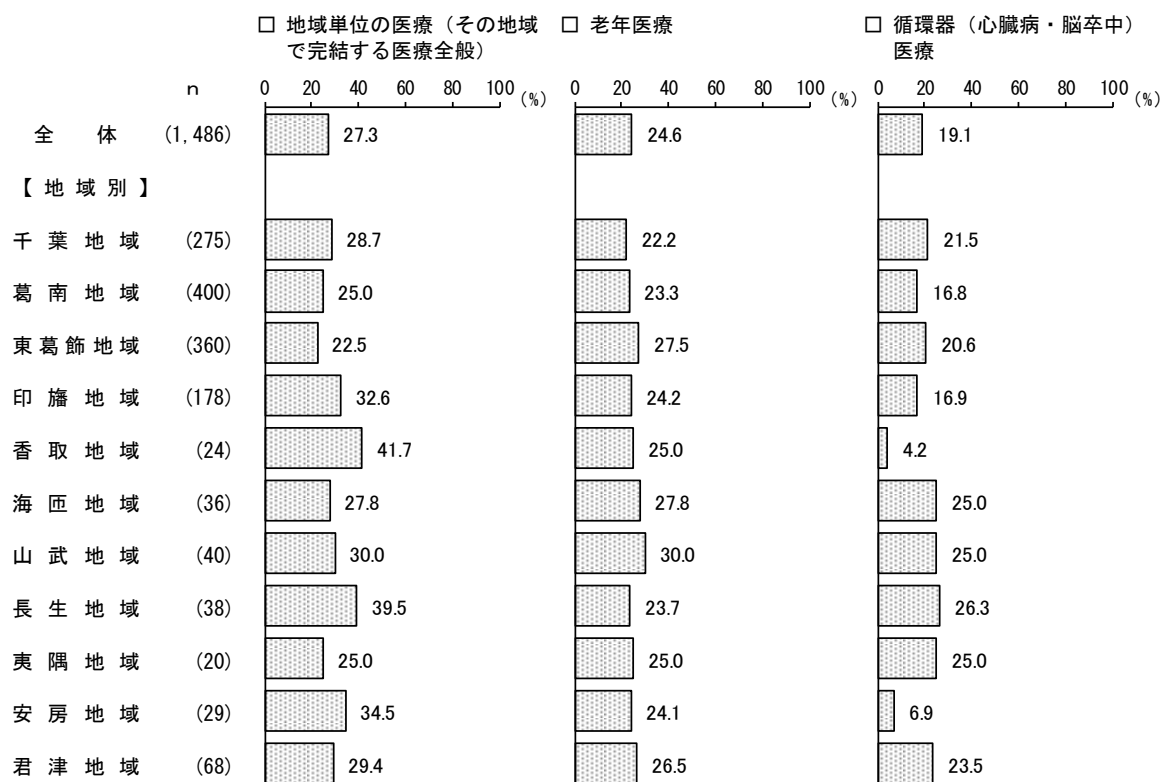
地域別にみると、大きな傾向の違いは見られない。（図表３－４）

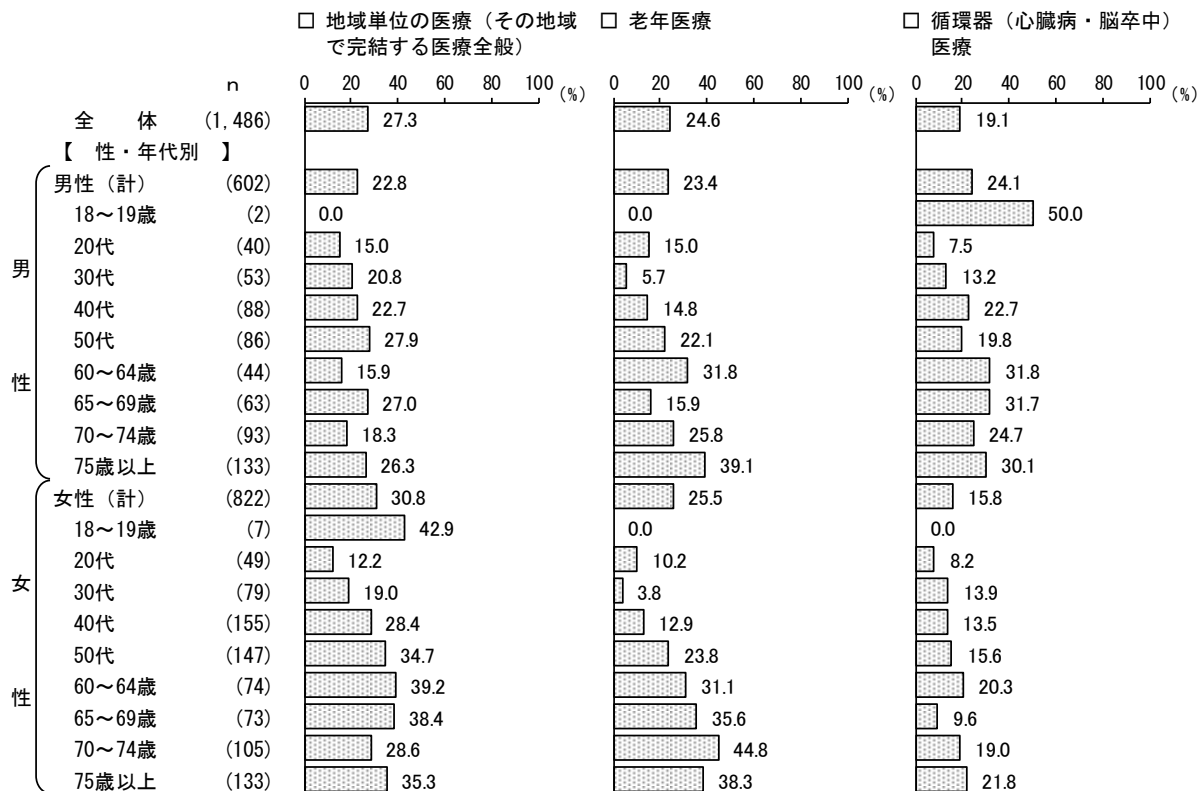
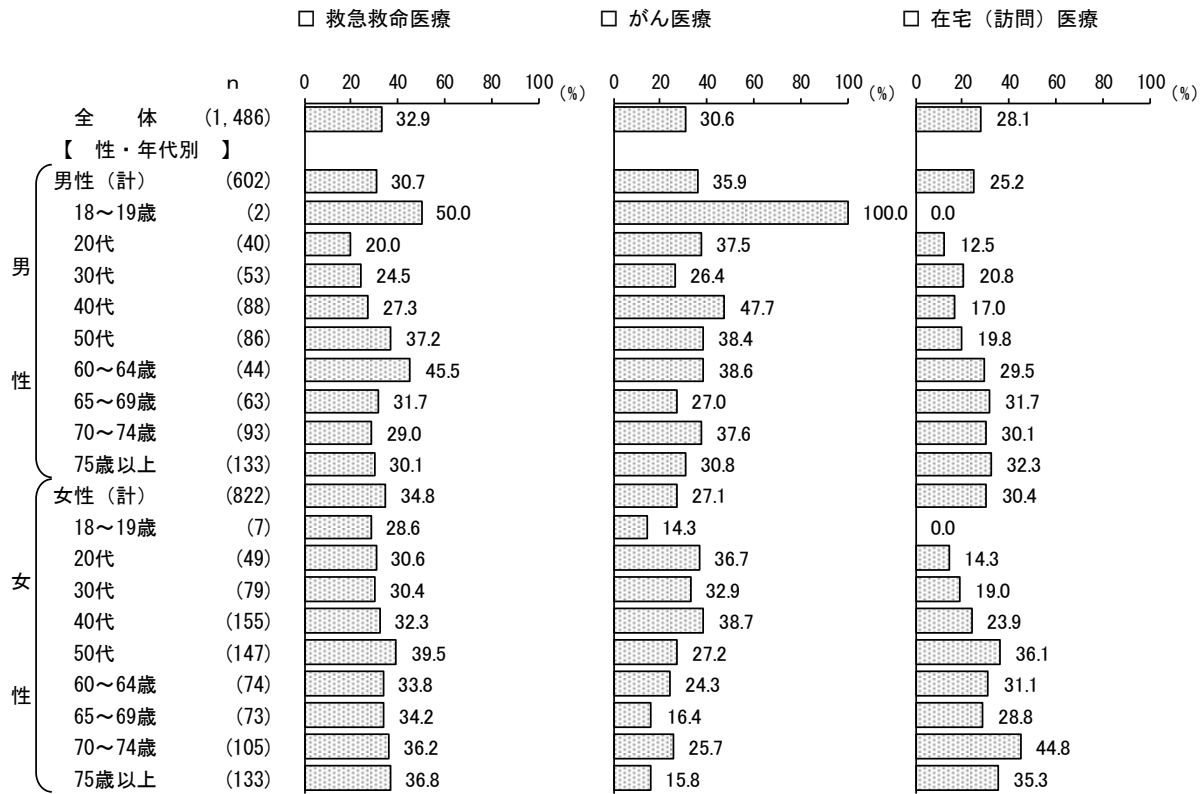
【性・年代別】

性・年代別にみると、「がん医療」は男性の40代（47.7%）が約５割、女性の40代（38.7%）が約４割で高くなっている。

「在宅（訪問）医療」は女性の70～74歳（44.8%）が４割台半ば、女性の50代（36.1%）が３割台半ばで高くなっている。

／地域別、性・年代別（上位6項目）





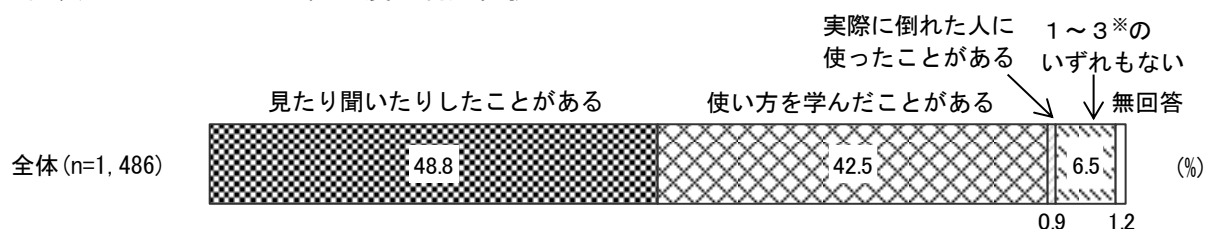
（３）ＡＥＤの認知度・利用経験

◇「見たり聞いたりしたことがある」が約５割

問27 あなたは、ＡＥＤ（自動体外式除細動器）※という機器について見聞きしたり、使ったことがありますか。（○は１つ）

※ ＡＥＤ（自動体外式除細動器）とは、心臓がけいれんし血液を流すポンプ機能を失った状態（心室細動）になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。

＜図表３－５＞ＡＥＤの認知度・利用経験

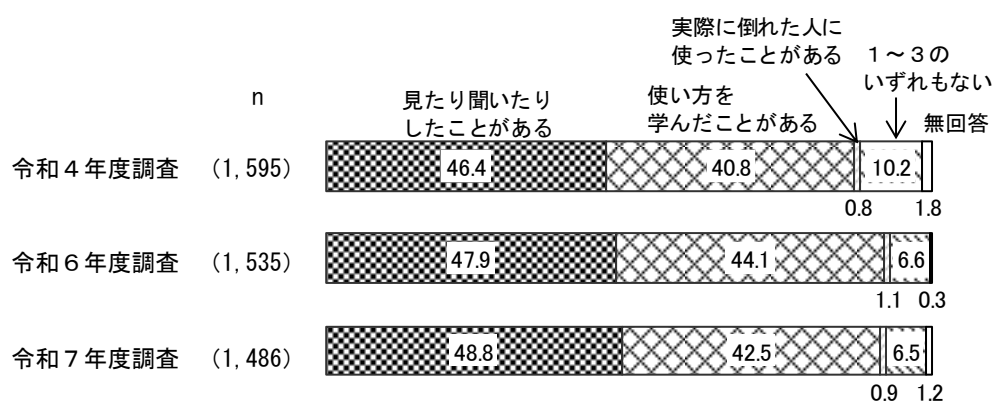


※ 1～3とは、「見たり聞いたりしたことがある」、「使い方を学んだことがある」、「実際に倒れた人に使ったことがある」を指します。

ＡＥＤ（自動体外式除細動器）について見聞きしたり、使ったことがあるか聞いたところ、「見たり聞いたりしたことがある」（48.8％）が約５割、「使い方を学んだことがある」（42.5％）が４割を超えている。

一方、「1～3のいずれもない」（6.5％）は１割未満となっている。（図表３－５）

〔参考〕令和４年度・６年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

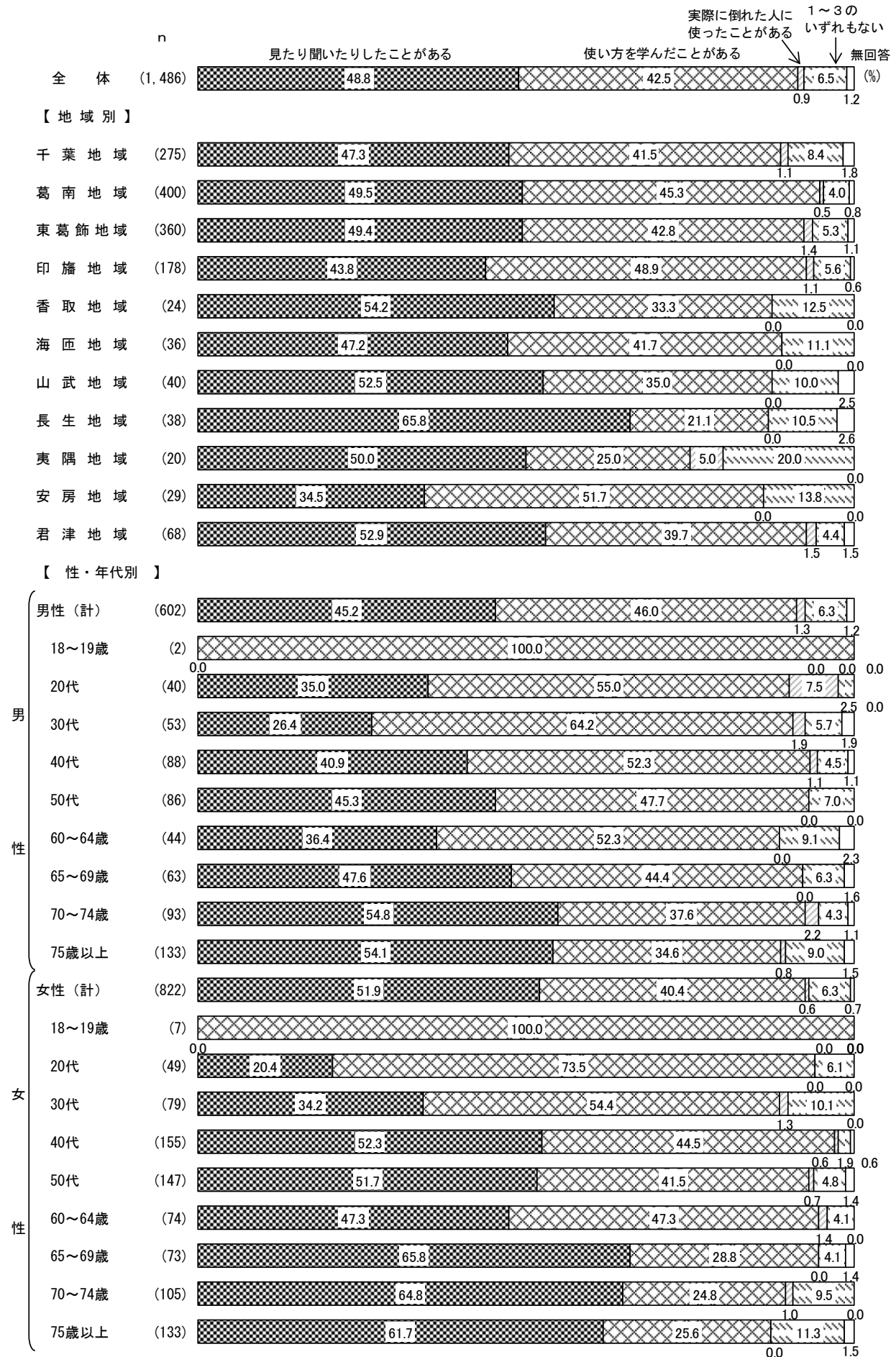
地域別にみると、「見たり聞いたりしたことがある」は“長生地域”（65.8％）が６割台半ばで高くなっている。（図表３－６）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「見たり聞いたりしたことがある」は女性の65～69歳（65.8％）と女性の70～74歳（64.8％）が６割台半ば、女性の75歳以上（61.7％）が６割を超えて高くなっている。

また、「使い方を学んだことがある」は女性の20代（73.5％）が７割台半ば、男性の30代（64.2％）が６割台半ば、女性の30代（54.4％）が５割台半ばで高くなっている。（図表３－６）

＜図表 3－6＞A E D の認知度・利用経験／地域別、性・年代別

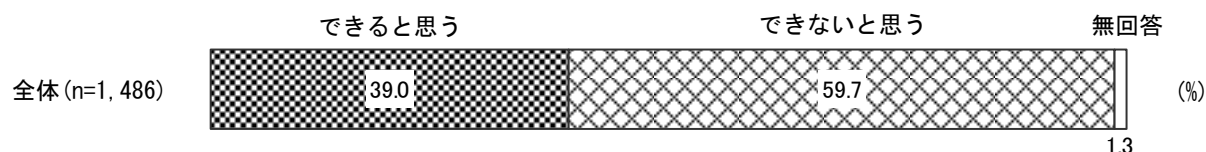


（４）A E Dを使用できるか

◇「できると思う」が約４割

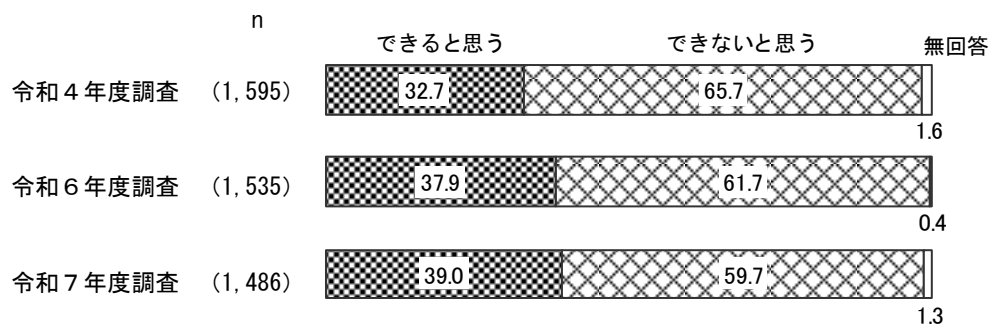
問28 あなたは、もし、見知らぬ人が目の前で突然倒れた場合、その場にA E Dがあれば、その人にA E Dを使用することができると考えますか。（○は１つ）

＜図表３－７＞A E Dを使用できるか



A E Dを使用できるか聞いたところ、「できると思う」（39.0％）が約４割となっている。一方、「できないと思う」（59.7％）は約６割となっている。（図表３－７）

〔参考〕令和４年度・６年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



※令和４年度では「できると思う」は「できる」、「できないと思う」は「できない」で実施

【地域別】

地域別にみると、「できると思う」は“君津地域”（54.4％）が５割台半ばで高くなっている。
（図表３－８）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「できると思う」は男性の40代（56.8％）と男性の20代（55.0％）が５割台半ばで高くなっている。

一方、「できないと思う」は女性の75歳以上（82.0％）が８割を超え、女性の70～74歳（80.0％）が８割で高くなっている。（図表３－８）

＜図表３－８＞ＡＥＤを使用できるか／地域別、性・年代別

